

ニプロセーフタッチキャス

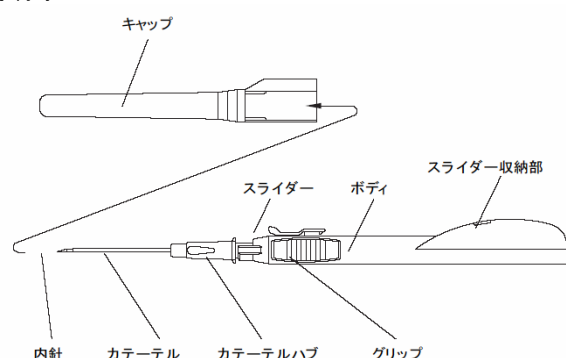
再使用禁止

【禁忌・禁止】

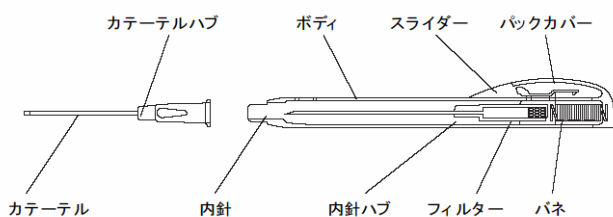
- 再使用禁止
- 高圧注入には使用しないこと。〔破損するおそれがある。〕
- 油性の造影剤、アルコールを含む薬剤は使用しないこと。〔テープ部にひび割れ等が生じる可能性がある。〕
- カテーテルから一度途中で引き抜いた内針は絶対にカテーテル内に再挿入しないこと。〔カテーテルの内面を傷つけたり、折れたり、切断するおそれがある。〕

【形状・構造及び原理等】

穿刺時



廃棄時



【使用目的、効能又は効果】

本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

【操作方法又は使用方法等】

*＜注意＞全ての操作は無菌的に行ってください。

1. キャップを取り除いてください。（図1参照）

*＜注意＞開封は使用直前に行ってください。製品等に異常が確認された場合は、使用しないでください。

*＜注意＞製品からキャップを取り除く際は、真っ直ぐ引き抜いてください。斜めに引き抜いた場合、針先端を傷める可能性があります。

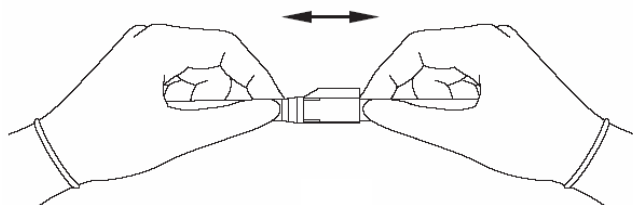


図1

2. スライダーが正しい位置にあることを確認します。（図2参照）

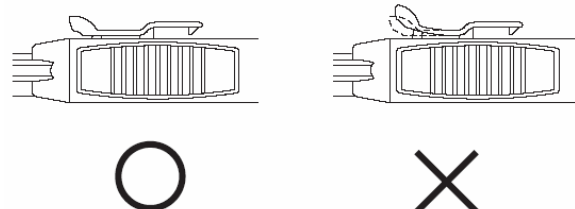


図2

3. 万一、スライダーが上方に浮いている場合はスライダーを上から押さえてください。（図3参照）

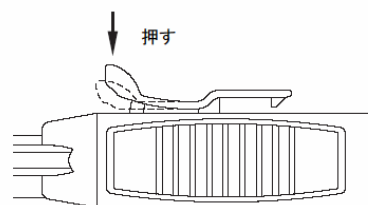


図3

*4. 内針とカテーテルが正しい位置で組み合わさっていることを確認してください。

*＜注意＞カテーテルが内針先端より出ている場合は使用しないでください。（図4参照）

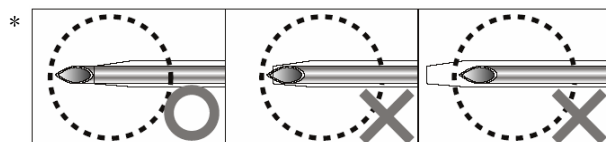


図4

5. スライダー面を上方にして、消毒した穿刺部位に穿刺してください。（図5参照）

<注意>この時、スライダーには絶対に触れないでください。

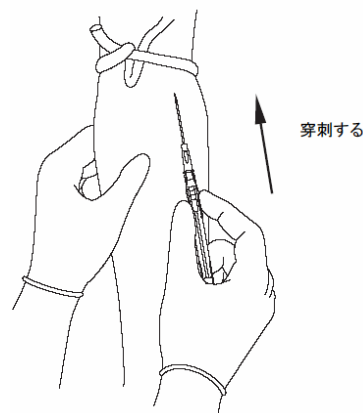


図5

6. 穿刺後、留置針の先端が血管内に入り、血管を確保しますと血液の逆流（フラッシュバック）が認められます。（図6参照）

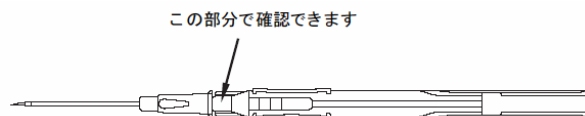


図6

＜注意＞血管の確保がスムーズに行えず、再度、穿刺し直す場合は、留置針を新しいものと交換してから行ってください。

7. 血液のフラッシュバックが認められたら内針が動かないようボディを固定し、カテーテルを必要な深さまで進めてください。（図7参照）

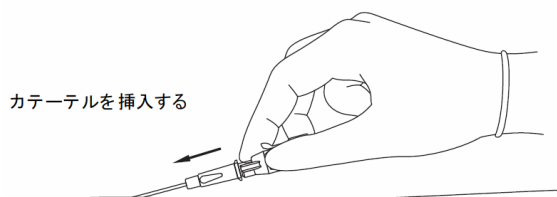
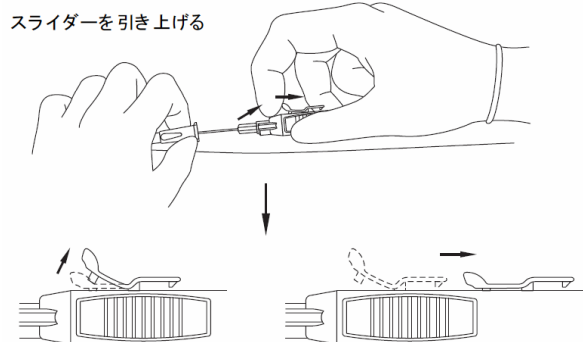


図7

8. カテーテルを指で固定し、カテーテルが動かない状態にし、スライダを上方へ引き上げてください。スライダを上方へ引き上げると内針がボディ内部へ移動します。この時「カシャ」と音がすれば完全に収納されます。（図8参照）



スライダの動き

図8

＜注意＞この時針先端が完全にボディ内に収納されているか確認してください。万一、収納されず内針の先端が出てくる場合は安全な方法で処理してください。

＜注意＞この時グリップ以外を握らないでください。又、グリップを強く握りすぎるとボディ内が変形してスライダが移動できず、誤刺防止機能が作動しない場合があります。（図9参照）

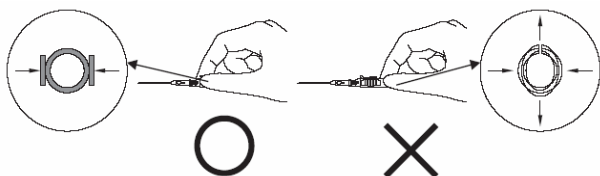


図9

*＜注意＞スライダを引き上げ内針をボディに収納する際には、カテーテルと内針が一直線になるようにしてください。傾いていると内針を収納する際に、内針針先でカテーテルを破損するおそれがあります。また収納される内針で指先等を傷つけないよう注意してください。

＜注意＞誤刺防止機能は急激な力が加わりますと破損するおそれがありますので故意にバックカバーやスライダを外したり、こじ開けたりしないでください。

*＜注意＞カテーテルから一度抜き取った内針は絶対にカテーテル内に挿入しないでください。又、内針を途中まで引き抜いた状態で、カテーテル内では決して内針を前後に移動させないでください。[カテーテル内面を傷つけ、内針の突き抜け等のカテーテル破損が生じ、破片が患者の体内に残留するおそれがあります。]（図10参照）

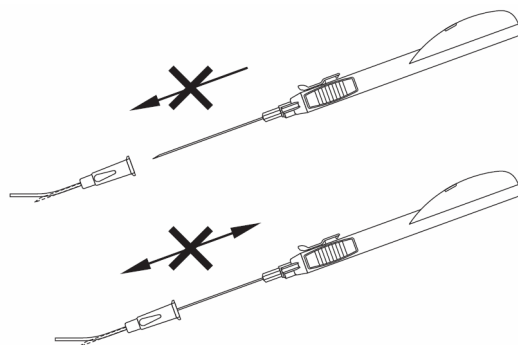


図10

*＜注意＞カテーテルを鉗子や爪等で挟まないでください。[カテーテルが折れたり、破損する可能性があります。] 万一内針を収納する途中で血管確保ができていないことが判明した場合は、内針とカテーテルを一緒に引き抜いて破棄してください。

9. 内針の抜き取られたカテーテルハブに輸液セット、輸血セット等をしっかりと接続してください。
10. 穿刺部位を滅菌ガーゼ等で被い、カテーテルハブ並びに輸液セット、輸血セット等をテープ、ドレッシング材で固定してください。
11. ボディ内に収納された針はグリップを持ち、廃棄容器に捨ててください。

＜注意＞ボディ先端には血液が付着している場合がありますので、ボディ先端部に触れないでください。（図11参照）

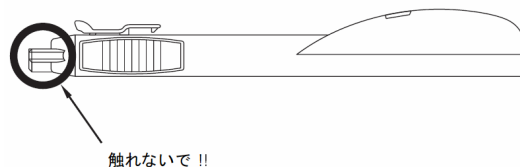


図11

*＜使用方法に関連する使用上の注意＞

1. 接続部への体液や薬液等の付着に注意してください。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]
2. 接続部からの液漏れ等の異常が認められた場合は使用しないでください。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

*○包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。

- *○使用は1回限りとし、再滅菌、再使用しないこと。
- *○併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用すること。
- *○本品の針先には直接手を触れないよう注意すること。
- *○あらかじめ接続部に緩みや液漏れ等がないことを確認してから使用すること。使用中は本品の破損、接続部の緩み、血液漏れ、空気の混入及び詰まり等について、定期的に確認すること。
- *○カテーテルとハブの接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷を加えないよう注意すること。〔カテーテルの抜け、破損、伸び等が生じる可能性がある。〕
- *○カテーテル留置後、カテーテル起因の静脈炎等が認められた場合は使用を中止すること。
- *○カテーテル留置後、固定が不十分な場合、カテーテルのズレによる液漏れや抜けが生じる可能性があるので定期的に確認すること。
- *○プラスチック製品なので、運搬、操作時には振動や衝撃を避けること。
- *○過度な力を加えないこと。〔破損・変形する可能性がある。〕
- *○接液部は汚染させないこと。
- *○包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿をさけて保管すること。
2. 有効期間・使用の期限
外箱の使用期限欄を参照のこと（自己認証による）。

【包装】

25本／箱

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

電話番号：06-6372-2331(代表)

製造

ニプロ株式会社